

今年度の福島県芸術祭開幕式典・開幕行事のテーマは「つなぐ・つむぐ・つたえる 私たちの文化芸術」。これからの地域の文化芸術に、「若い世代を巻き込み」「芸術の楽しさを伝え」「未来へつなげる」という想いを込めています。

開幕行事は3部構成です。第1部は「伝統をつたえる」。会津地域で受け継がれる伝統芸能を披露します。第2部は「思いをつむぐ」。伝統や芸術を新しい価値観でつくっていきます。語り部と高校生演劇部のコラボレーションや、町村連携による太鼓の共演など、今回の開幕行事がきっかけとなった新たな取組が披露されます。第3部は「未来へつなぐ」。子どもたちがメインとなる取組をご紹介します。伝統芸能の継承に取り組む小学校や、子どもたちに継承している保存会など、未来につながる取組を披露します。そしてフィナーレは、出演者と客席の皆様による「会津磐梯山踊り」。開幕行事の締めくくりに、みなさんと心に残る時間を共有したいと思っています。

当日は、地域産品の展示・販売、ワークショップ、飲食コーナーなども開催します。見て触れて食べて、一日中、会津地域の文化芸術をお楽しみください。

# 第62回 福島県芸術祭



つなぐ・つむぐ・つたえる

私たちの文化芸術

令和5年9月3日 日曜日 開場 10:30

開幕式典 11:00 ~ 12:00  
開幕行事 13:00 ~ 17:00



ライブ配信  
11:00 から

會津風雅堂 大ホール 福島県会津若松市城東町 12-1

入場無料

主催 福島県芸術文化団体連合会 / 福島県 / 福島県教育委員会 / 会津若松市 / 喜多方市 / 下郷町 / 只見町 / 南会津町 / 北塩原村 / 西会津町 / 磐梯町 / 猪苗代町 / 湯川村 / 柳津町 / 三島町 / 金山町 / 昭和村 / 会津美里町 / 会津 15 市町村教育委員会

主管 福島県芸術祭会津地区実行委員会

後援 福島民報社 / 福島民友新聞社 / NHK 福島放送局 / 福島テレビ / 福島中央テレビ / 福島放送 / テレビユー福島 / ラジオ福島 / ふくしまFM / エフエム会津 / 喜多方シティエフエム

問合せ先 福島県芸術祭会津地区実行委員会 (会津若松市教育委員会 文化課内) Tel.0242-39-1305



URLは裏面をご覧ください



開幕式典

11:00-12:00

オープニング

会津能楽会(会津若松市)

開式

主催者あいさつ

主催者及び来賓の紹介

開幕宣言

開幕行事

13:00-14:15

第一部 伝統をつたえる

大正琴扇流会津支部ハープそよかぜ(南会津町)

大芦ダイモチ引き木遣り保存会(昭和村)

会津磐梯巫女舞保存会(磐梯町)

大塩川前神楽保存会(北塩原村)

田島しゃんぎり保存会(南会津町)

出演

14:30-15:30

第二部 思いをつむぐ

和太鼓サークルぼんぼこ(金山町)

西会津大山さゆり太鼓(西会津町)

只見つくし会・はぎの会(只見町)

会津西陵高等学校演劇部&

みさと民話の会(会津美里町)

出演

15:45-16:15

第三部 未来へつなぐ

(喜多方市)

中村彼岸獅子保存会と松山小学校児童

小林早乙女踊り保存会(只見町)

出演

16:15-16:30

フィナーレ「会津磐梯山踊り」

会津民謡協会・静山会・芳泉流(会津若松市)

その他出演団体

出演

※タイムテーブルは予定ですので、変更となる場合があります。

展示販売(10:30-17:00)

喜多方市

①喜多方の染型紙「会津型」ワークショップ

②将棋の魅力がわかるパネル展示

北塩原村

編み組み細工の展示(手わっさの会)

会津美里町

会津本郷焼のカケラを使ったアクセサリー販売(TESORO.accessory)

昭和村

からむしのコースター作り、からむし製品の販売(道の駅からむし織の里しようわ)

磐梯町

物産品販売(ぼんだい振興公社)

金山町

山入歌舞伎の映像上映と解説(山入近隣会)

西会津町

出ヶ原和紙の作品展示

猪苗代町

観光PR

三島町

奥会津編み組細工の販売(三島町生活工芸館)

ご当地グルメが味わえる“マトケパブカフェ(只見町)”や地域の食材を使用したクレープ“maco'sキッチン(南会津町)”などキッチンカーも出展



出演団体ピックアップ

会津西陵高等学校演劇部 & みさと民話の会(会津美里町)

普段生活している日常では、あまり触れる機会がない民話や訃りを、演劇部と語り部の共演により、テレビや絵本で見るような感覚で幅広い世代に楽しんでいただければと思います。



会津磐梯巫女舞保存会(磐梯町)

磐梯神社の巫女舞は長らく本寺地区に継承されてきた県指定重要無形民俗文化財ですが少子化により、地区のみでは継承が困難となった為、平成29年から町内外より有志を募り会津磐梯巫女舞保存会を結成し、その継承に取り組んでいます。また、江戸時代に失われた明神舞(日光・月光舞)の復興に取り組むなど、地域文化の向上と人々の交流を深める活動を行っています。



小林早乙女踊り保存会(只見町)

豊作と家内安全を祈願し、小正月に家々を訪れて踊る伝統行事。小林集落では準備や練習などを通して、老若男女、様々な世代、立場の人が参加し、交流する機会となっています。人と人との絆を育む伝統芸能の力を感じていただければと思います。小中学生と地域の大人が共演します。



只見つくし会・はぎの会(只見町)

踊りという芸術文化をとおしてSDGsの「住み続けられるまちづくり」を目指します。只見つくし会が「蒼龍追慕の歌」を、はぎの会が「喜代節」を披露します。



和太鼓サークルぼんぼこ(金山町)/西会津大山さゆり太鼓(西会津町)



○和太鼓サークルぼんぼこ(金山町)ぼんぼこは、結成から24年。小中学生と卒業生が中心の元気で楽しい金山町の和太鼓サークルです。



○西会津大山さゆり太鼓(西会津町)「太鼓で西会津を元気にする」を合言葉に、小学生から70代までのメンバーで活動しています。2つの団体の共演です。

中村彼岸獅子保存会と松山小学校児童(喜多方市)



会津の春の風物詩である中村彼岸獅子舞は、古風な音曲と舞に物語をふくみ、優雅、勇壮と、見る人をあきさせません。その維持保存と後継者育成に取り組む保存会とその思いに賛同した松山小学校が連携し、児童たちへ中村彼岸獅子と郷土を愛する心や伝統を守る意欲が伝えられています。保存会と児童たちの共演をご覧ください。

大塩川前神楽保存会(北塩原村)

「大塩川前神楽」は明治18年頃、地元の有志が下三宮(喜多方市)について教わったのが始まりとされています。担い手不足などにより20年ほど途絶えていましたが、平成25年より復活のための練習がはじまり、柳津の大神楽の指導を受け、平成30年4月に保存会が発足しました。神楽では、獅子の持つ権威・神聖な力により家内安全、豊作祈願等を行います。



大芦ダイモチ引き木遣り保存会(昭和村)

ダイモチ引きとは、春堅雪の頃、村中総出で家屋の「大黒柱」や、川に橋を架ける「ながら」などに使う大きな木を山から切り倒し、山の中から引いて来たことをいいます。村の中に引いてきた「ダイモチ」が入ると、まるで祭りのような賑わいになり、家や橋の長持ちを祈り、唄いながら引きました。奥会津の山人達の、厳しく、優しかった時代の木遣り唄です。



そのほか、会津能楽会によるオープニングステージや、田島しゃんぎり保存会による演奏、大正琴扇流会津支部ハープそよかぜによる大正琴の演奏、そしてフィナーレは会津民謡協会と客席の皆様による「会津磐梯山踊り」で開幕行事を盛り上げます。



會津風雅堂

福島県会津若松市城東町12-1

会津若松駅から車で10分

tel.0242-27-0900

URL.http://ai-zu-bunka.jp/fugado/

赤色で示した駐車場をご使用ください。

おもて面の説明(田島しゃんぎり保存会)

一時期、途絶えそうになった時期がありましたが、昨今は数多くの子供達が祭囃子に興味を持ち、楽しく賑やかに練習をしています。



【ライブ配信】[https://www.youtube.com/watch?v=\\_BwWZb7tNc4](https://www.youtube.com/watch?v=_BwWZb7tNc4)